

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	鹿児島県	市町村名	長島町
プロジェクト名	海から天にかける美しい島づくり		
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 長島町は県の最北西部に位置し四方を海に囲まれた風光明媚な島である。北に長崎県、熊本県天草を控え三県架橋構想も具現化しようとしている。本町は、海と夕陽と緑の豊かな自然が最大の魅力であり、産業資源・観光資源でもある。これを護るとともに育て、活用していくことが最大の課題である。平成19年3月31日景観行政団体になったのと平行して景観条例を公布し、本格的に全町的な景観づくりに着手した。メイン事業として長島の玄関口である黒之瀬戸大橋周辺の公園、展望所、観光の発信地となる物産館、駐車場の整備をするとともに島内一周道路の路傍に町花の水仙等を植栽し、また、造形美術展の造形展示施設整備、展示場の石積み公園整備、日本一の養殖ぶりを生かしたサミットなど町の活性化とイメージアップを図り、都市と農漁村の交流人口、観光客等の倍増を目指す。</p> <p>(具体的な成果目標) 平成18年度の観光客の入込み数は、公園関係が438,700人、海水浴場が15,200人 計453,900人となっている。本事業の3年後は2倍の900,000人の入込みを目指す。また、交流人口(造形展70,000人、ぶりサミット500人)・定住人口(U・Iターン5組10人)も目指す。</p>		
プロジェクトの期間	平成19年度を初年度として3年間	政策分野の分類 (①～⑪)	⑥観光振興・交流プロジェクト
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	町広報誌、町ホームページ (http://www.town.nagashima.lg.jp/nagashima07/nagashima13.asp)		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	事業費 (単位：千円)	
長島アートギャラリー	2年に1度開催(今回は平成19年)している「造形美術展」は平成8年に日本イベント大賞を受賞した、住民総参加の長島町の一大イベントである。現状ではほとんど廃棄されている作品を展示・保存する施設の整備や造形美術展の展示会場を石積みによる公園として整備するなど新たな観光資源とする。	45,000 (25,792) ※()は平成19年度事業	
黒之瀬戸うずしお公園整備	町の玄関口として、観光の発信地となる案内所と併設の長島の特産品を販売する物産館とその周辺整備を町内でなじみの深い石積み、町花の水仙、町木の椿等の素材や造形美術展の作品展示等特色のある公園を整備する。	20,000	
ぐるっとフラワーロード	本町は周囲40kmの一周道路が幹線道路となってる。路傍には数年前から地域住民による水仙の植栽が行われ春には水仙ウオークも行われている。途中には景勝地、史跡、段々畑など人文景観も多ので、この一周道路に四季を通じ楽しめる水仙、彼岸花、さつきなどを住民参加により植栽し美しい道路に整備する。	30,000 (8,031) ※()は平成19年度事業	
かえっておいでよ60歳	スローライフ(田舎暮らし)を希望する団塊の世代や若者を対象に、島内の空家を整備し提供する。町が、トイレ、台所等を改修して賃貸住宅として整備する。賃貸とすることで短期的な田舎暮らしを体験してもらうことも可能となる。希望者には農地も斡旋する。定住を希望する場合は、5年経過後に入居者が買い取れるようにする。	30,000 (3,600) ※()は平成19年度事業	
世界ぶりサミット	「これからのぶり養殖」と題し、国内の主要生産地の代表者を集めた会議を開催する。サミットの主催地として、東町漁協の取り組みを発表し話題提供とする。また、イベントの中で、ぶりの食べ方を研究する(料理コンテスト)ことにより、特産品開発や消費拡大につながるものを見つける。姉妹盟約をしている韓国吉祥面、鹿児島大学の留学生など、魚食文化についての交流会を開催し、長島町の国際化(交流)を図る。	5,000	
総計		130,000 (37,423)	
その他特記事項			
平成19年度第1次応募の「海から天にかける美しい島づくりプロジェクト」の事業費変更 長島アートギャラリー30,000千円を45,000千円に変更し、総額115,000千円を130,000千円に変更			